



# 電氣企業社に果して誠意ありや

## 青年團有志が栗原専務を訪問

微菌が増しても害はあるまい  
この言を聞いて團員舌を捲く

### 兩者の問答

平町青年團有志三森、馬目、阿部、緑川、長瀬、川崎の諸氏は本日平電氣企業社に専務取締役栗原欣次郎氏を訪ね今回の發電所問題に關する経過頭末其他に就いて説明を求め種々質問する所あつたが主要なる質問應答は左記の如くである(但し問は青年團側答は栗原専務)

問「電氣企業社は株式組織なそうですが資本金額及び重役諸氏の氏名をお聞せ願ひます」  
答「資本金は十萬圓、重役は社長が欠員の爲め専務取締役の私が一切の衝に當つて居ます、取締役は平町酒井猶次、同馬目雄次郎、同野崎滿藏、東京権島禮吉、監査役が四倉保太郎、相談役は平町佐藤庄太郎、飯野村山崎吉平、二本松田倉孝雄です」

問「發電所に多量の水を吸集される結果平町は水不足を告げる様な事はありませんか」  
答「平町では十三個の水があれば現在は充分なものですから夫れ丈の水は流す事になつて居ます、従つて不足はないでせう」

問「今迄好間川の水流は九十個あつた由でありますが突然夫れが十四個に減量し

た爲めに流れが緩慢となり従つて微菌の聚落數が増すのみならず十四個の内九個の水は灌漑用水の餘り水や澤からニジミ出した水なすうですから非常に微菌の潜伏數が増す爲めに水道の水が汚損されると思ひますが如何でせう」

答「確かに微菌の聚落數は増すのでせうが而し微菌が増しても保健衛生上何等悪影響を及ぼさざるに拘らず發電所設置計画を断念せしめたとすれば發電所を設けた事に依つて受ける十三萬圓と云ふ國益を全々無にする事になりまして國家の一大損害を惹起する事になりま

す」  
問「微菌がごんなに増しても夫れが保健衛生上何等悪影響なしとの断定に依れば貴方の所論は正當でせうが私共としては微菌が増せば必ず保健衛生上害あるものとしんじまするが故に電氣を起す事に依つて得る十三萬圓の利益を棒に振つても平町三萬町民の生命を守らねばならぬと思ふのです貴方は微菌が人體に害のないと云ふ事を學理的に立證出來ますか」

答「別段そんなに害があるとはかり考へられませんが

就寢前の室内の空氣と起床前の室内の空氣を比較較しまするに、起床前には室内の爲め微菌の數が大層増す

て別に頭痛もしないしやありませんか」  
問「頭痛がしないからとて害がないとは申せません否害があればこそ朝は室内の喚氣法を行ふ事に習慣づくられて居ます、現に水道の水質も是れを試験の結果若し其中に最大限度三百個以上の微菌が生存して居る場合は絶対に飲料水として許可されぬ規定になつて居る

さうです」  
答「さうかも知れません」  
問「貴方の會社が發電所を經營するのではなく其水利權を磐城炭礦に賣り渡すのだと傳へられて居ますが實際ですか」

答「未だ水利權を賣つては居りませんが唯賣つてもよい、買つてもよいとの諒解はあります」  
問「縣當局が發電所設置を許可する前に幾回位現場を調査に來ましたか」

答「夫れは當方に知らして寄越しませんから判りません、當方から提出しました設計書や説明書は詳細を極めて居ますから夫れ等の書類が物を云ふのですだから調査に來なかつたとしても心耐ありません」

問「土木課は書類に依つて

### 山崎清三氏の土産談

#### 特産物の殖産工業が小規模なのに驚く

平在郷軍人分會長山崎清三氏は北海道及び樺太地方を視察し六日午前二時の急行にて歸平したが其土産談左の如くである  
「僅かに十九日間の飛脚旅行ですから充分な視察を遂げて歸つたとは申されませんが那役所から産業調査員を囑託され佐瀬本縣農商課長の紹介状を持參し殊に樺太には元の本縣警察部長の小島氏が産業部長となつて居ました爲め非常に便宜が ありました  
先づ北海道や樺太で第一に感じました事は土地の人々が金儲けの爲めに敏感であり且つ大風呂敷を擧げる事に妙を得て居る事です是非俺の家の製造場を見て呉れと云ふので出掛て見ると釜を二つばかり用意してある小規模なものであつたり總べてが  
此調子 です殊に意外に感じた事は特産物等に對する施設經營が極めて小資本を以つて爲され鮭の罐詰にしるニンシにしろ皆小企業者の手から問屋や市場

がありません」  
問「眞に貴方が平町の爲めを考慮するものであつたとしたら衛生課の意見等も徹して見る事が本當ではなかつたでせうか」  
答「手續上必要はなかつたので遺らなかつた迄です」

樺太から歸つた

鐵道の 沿線等は殆んど開拓の餘地がなく従つて木材等も既に伐採されて大なる森林等の如きは汽車の窓から覗けませんでした樺太の大泊では盛んに築港中でしたが此等築港が完成すれば白井遠平翁の所有地等は住宅地として

非常な 繁榮を來す筈です十數年以前此處に眼を着けた先見の明には眞に敬服に價するものであると感じました」

平町人事  
出生  
長崎町 鈴木深次郎氏長女キミ子  
胡麻澤 永島磯穂氏長女悦子  
北目町 大谷良一氏(六) 茨城縣多賀郡豐浦町鈴木(一四)  
石城郡大浦村渡邊茂一氏(一三)  
一丁目鈴木タカ子(一五)  
死亡  
△手ツカミ 借澤輝子(一三)

期は豫想外の慘落で客年以來急速なる下向を示し昨今の山元取引は粉塊共に何れも三割乃至四割落を唱へ殊に磐城東線赤井筋の粉塊の如き並に之れに準する下級

募集 文藝其他一般出品は坑外搬出から停車場持出し迄の實費にも満たざる噸五圓臺の大下落の爲め炭礦經營者には非常の恐慌を來して居る  
銀星勝つ 既報昨日の銀星俱樂部對胡摩澤野球團の野球試合は九對四にて銀星大勝を博した

石炭 四割安  
需要薄の爲め  
石城地方に限らず石炭の價格は例年夏季の需用薄に這入ると下落するのが常で此の期的變動は各炭礦共に覺悟はして居るが本年の同

### 六ヶ敷過ぎる 電報用語を判り易く

#### 通信事業民衆化の一つ 森郵便局長喜んで語る

通信事業民衆化の必要が世間にやかましく論せられてゐる昨今電報用語をわざとむづかしく頼信紙といつたり照合電報のことを照校電報といつたりし

てゐるのは頗る時代錯誤であり通信業務の簡便を期する所以でもないといふので今後現行の電報用語中 一般公衆に關係ふかくして難解な用語全部をわかりいゝように改

正することになつた右に付森平郵便局長は語る「現行の通信用語中には 一般の 人に理解しかねるやうな用語が澤山あるたへば照校電報とか受信報知電報とか又は尋問とかいふ類のものであるが殊に受取つた電報中に不明な部分があるといふので郵便局にきゝにいつた際係員からそれは尋問にしてくださいといはれてす

その意味のわかる人が何人あるかこうした時代錯誤な電報用語は 是非とも一般の人にわかりやすい様にしなければならぬと思ふ例

片紙片々氏へ 家庭欄其他に關する御注意を感謝します今後一層御鞭達を程を……(川崎生)

へ受信報知電報を配達通知電報類信紙を電報用紙照交電報を照合電報返信料前納電報を返信つき電報又

尋問を 問合せといふように改めれば大變わかりやすくなるだらうとおもふそういふ風に改めれば公